



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ライフコーポレーション
コード番号 8194 URL <http://www.lifecorp.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 岩崎 高治
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経本副本部長 兼 IR部長 (氏名) 金子 和夫 TEL 03-5807-5111
四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無



(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	195,864	5.4	6,347	15.0	6,559	14.7	4,418	11.0
2023年2月期第1四半期	185,780	—	5,520	△34.4	5,720	△33.5	3,981	△34.4

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 4,360百万円 (10.5%) 2023年2月期第1四半期 3,944百万円 (△33.8%)

(参考) 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

売上高 2024年2月期第1四半期 188,981百万円 (5.4%) 2023年2月期第1四半期 179,223百万円 (—%)
営業収入 2024年2月期第1四半期 6,882百万円 (5.0%) 2023年2月期第1四半期 6,556百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2024年2月期第1四半期	円 銭 94.16	円 銭 —
2023年2月期第1四半期	84.95	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

2023年2月期第1四半期に係る各数値は、当該会計基準等を適用後の数値となっており、営業収益は対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第1四半期	277,537	124,717	44.9	2,657.64
2023年2月期	280,810	122,002	43.4	2,599.79

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 124,717百万円 2023年2月期 122,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	801,000	4.6	19,800	3.4	20,500	2.4	13,500	1.3	288.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期1Q	49,450,800株	2023年2月期	49,450,800株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	2,522,879株	2023年2月期	2,522,786株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期1Q	46,927,963株	2023年2月期1Q	46,867,292株

(注) 期末自己株式数には、「取締役向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式（2024年2月期1Q 84,300株、2023年2月期 84,300株）が含まれています。
また、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。（2024年2月期1Q 84,300株、2023年2月期1Q 90,300株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、不安定な国際情勢を背景とした資源価格の上昇によるインフレの継続、米国をはじめとする金融不安、世界規模での金融引き締め等による景気停滞、円安の影響等により、先行き不透明な状況が継続しておりますが、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ変更や行動制限の撤廃に伴い社会経済活動の正常化が一段と進み、個人消費やインバウンド需要の回復が下支えとなり、当社グループの収益・利益は、ともに昨年度実績を上回りました。

当社グループの事業領域である食品スーパー業界におきましては、業種・業態の垣根を超えた競争の激化、原材料の調達価格の上昇、水道光熱費や人件費をはじめとした各種コストの上昇、相次ぐ食品の値上げ等の物価上昇やこれに伴う実質賃金の減少による節約志向の高まり等、企業運営を取り巻く環境は予断を許さない状況です。

こうした経営環境の下、当社グループは、「第六次中期経営計画」での反省及び外部環境の変化を踏まえ、経営理念・ビジョン・ライフらしき宣言の実現に向け2030年度に当社が目指す姿を見据えて、以下の3つを主要テーマとした「第七次中期経営計画」に当連結会計年度より取り組んでおります。

・人への投資～従業員の成長と従業員満足度向上によるモチベーションアップが、第七次中期経営計画を前進させ会社の成長につながるという認識から、人財の成長や働きがいのある職場にするための投資を行います。

・同質化競争からの脱却～ライフにしかない「商品」「サービス」に磨きをかけるとともに、お客様とライフがシームレスにつながる便利なお買い物環境の実現に向け「ネット事業」の拡大、スマートフォンで利用できるライフアプリによる情報提供により、お客様に快適な買い物体験を提供することを目指します。

・持続可能で豊かな社会の実現への貢献～「地域のライフライン」として、持続可能で豊かな社会の実現のための取り組みを実施（環境負荷低減、地域社会への貢献等）していきます。

また、3つのテーマを推進するにあたり、人手不足の状況でも第七次中期経営計画をやり遂げるために生産性を高めるとともに、コストの最適化を図るため『「カイゼン」の輪をつなぐ』のスローガンのもと全従業員自ら「カイゼン」活動に取り組んでおります。

新規店舗としては、3月に宝塚中山寺店（兵庫県）、ビオラルパルコヤ上野店（東京都）、4月に川崎塚越店（神奈川県）、300店舗目となるセントラルスクエアららぽーと門真店（大阪府）を出店しました。既存店舗では、大泉学園駅前店で、売場面積を約1.8倍に拡大し「BIO-RAL（ビオラル）」商品や冷凍食品等の品揃えを大幅に拡充する大型改装を行いました。

当社グループの業績におきましては、新規出店、ネットスーパーの拡大、「BIO-RAL（ビオラル）」等のプライベートブランド商品の強化、おいしさを追求した商品施策等を実施した結果、営業収益は1,958億64百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。一方、販管費は、水道光熱費の高騰、新規出店に伴う賃借料等の各種物件費の増加に加え、採用強化等に伴う人件費も増加しましたが、全体的に更なるコストの抑制に取り組んだ結果、営業利益は63億47百万円（前年同四半期比15.0%増）、経常利益は65億59百万円（前年同四半期比14.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億18百万円（前年同四半期比11.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

（小売事業）

営業収益は1,958億7百万円（前年同四半期比5.4%増）、売上高は1,889億81百万円（前年同四半期比5.4%増）、セグメント利益は64億52百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。

なお、部門別売上高は、生鮮食品部門824億41百万円（前年同四半期比4.7%増）、一般食品部門846億30百万円（前年同四半期比6.6%増）、生活関連用品部門162億31百万円（前年同四半期比4.5%増）、衣料品部門56億77百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

（その他）

株式会社ライフフィナンシャルサービスの営業収益は6億79百万円（前年同四半期比9.4%増）、セグメント利益は1億6百万円（前年同四半期比66.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、2,775億37百万円と前連結会計年度末に比べ32億73百万円減少いたしました。

流動資産は、763億54百万円と前連結会計年度末に比べ41億36百万円減少いたしました。これは主として売掛金が9億68百万円、商品及び製品が14億64百万円それぞれ増加した一方、未収入金（流動資産その他）が59億23百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、2,011億83百万円と前連結会計年度末に比べ8億63百万円増加いたしました。これは主として店舗の新設などにより減価償却後の有形固定資産が5億65百万円、差入保証金が1億46百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、1,528億19百万円と前連結会計年度末に比べ59億87百万円減少いたしました。これは主として買掛金が60億79百万円、未払法人税等が7億47百万円、賞与引当金が24億3百万円それぞれ増加した一方、短期借入金及び長期借入金の合計が163億50百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,247億17百万円と前連結会計年度末に比べ27億14百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金が27億73百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の連結業績予想につきましては、2023年4月10日の「2023年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

なお、今後の景気・個人消費動向を注視し、連結業績予想の見直しが必要となった場合には、速やかに開示することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,727	9,553
売掛金	9,209	10,177
商品及び製品	25,811	27,276
原材料及び貯蔵品	250	273
その他	35,491	29,073
流動資産合計	80,490	76,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	91,932	93,102
土地	39,614	39,614
その他(純額)	24,334	23,729
有形固定資産合計	155,880	156,445
無形固定資産	3,218	3,068
投資その他の資産		
差入保証金	24,513	24,660
その他	16,749	17,050
貸倒引当金	△41	△42
投資その他の資産合計	41,220	41,668
固定資産合計	200,319	201,183
資産合計	280,810	277,537
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,971	48,050
短期借入金	44,120	23,300
1年内返済予定の長期借入金	8,628	9,627
未払法人税等	2,363	3,110
賞与引当金	2,764	5,168
販売促進引当金	21	20
その他	28,367	29,503
流動負債合計	128,236	118,781
固定負債		
長期借入金	17,497	20,967
役員株式給付引当金	43	43
退職給付に係る負債	889	918
資産除去債務	5,350	5,468
その他	6,790	6,640
固定負債合計	30,571	34,038
負債合計	158,807	152,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	5,696	5,696
利益剰余金	109,147	111,921
自己株式	△3,838	△3,838
株主資本合計	121,010	123,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	560
土地再評価差額金	△1,154	△1,154
退職給付に係る調整累計額	1,558	1,527
その他の包括利益累計額合計	992	933
純資産合計	122,002	124,717
負債純資産合計	280,810	277,537

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	179,223	188,981
売上原価	123,722	129,831
売上総利益	55,501	59,150
営業収入	6,556	6,882
営業総利益	62,057	66,032
販売費及び一般管理費	56,536	59,684
営業利益	5,520	6,347
営業外収益		
受取利息	33	31
受取配当金	4	4
リサイクル収入	78	89
その他	143	141
営業外収益合計	259	266
営業外費用		
支払利息	43	45
その他	15	9
営業外費用合計	59	55
経常利益	5,720	6,559
特別損失		
固定資産除却損	4	35
その他	—	8
特別損失合計	4	44
税金等調整前四半期純利益	5,716	6,514
法人税、住民税及び事業税	2,071	2,648
法人税等調整額	△336	△552
法人税等合計	1,735	2,095
四半期純利益	3,981	4,418
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,981	4,418

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	3,981	4,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	△27
退職給付に係る調整額	4	△30
その他の包括利益合計	△36	△58
四半期包括利益	3,944	4,360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,944	4,360

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	小売事業				
営業収益(注) 1					
顧客との契約から 生じる収益	184,418	265	184,683	—	184,683
その他の収益(注) 4	1,096	—	1,096	—	1,096
外部顧客への営業収益	185,514	265	185,780	—	185,780
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	218	356	574	△574	—
計	185,733	621	186,355	△574	185,780
セグメント利益	5,656	63	5,720	—	5,720

(注) 1 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2 「その他」はクレジットカード事業等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4 その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等が含まれております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	小売事業				
営業収益(注) 1					
顧客との契約から 生じる収益	194,471	296	194,768	—	194,768
その他の収益(注) 4	1,095	—	1,095	—	1,095
外部顧客への営業収益	195,567	296	195,864	—	195,864
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	240	383	623	△623	—
計	195,807	679	196,487	△623	195,864
セグメント利益	6,452	106	6,559	—	6,559

(注) 1 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2 「その他」はクレジットカード事業等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4 その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等が含まれております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。